

郡山公民館だより

こ
お
り
や
ま

子どもから
大人まで
理想に燃えて
躍動する
学びの館

令和6年2月号
郡山公民館
鹿児島市郡山町168
電話 298-2220
fax 298-2231

【2月の行事予定】

- 2日（金）第2回公民館運営審議会
- 8日（木）第10回八重大学（閉講式）
- 15日（木）自主学习グループ連絡協議会



第31回郡山新春書初め大会



1月5日（金）午前、郡山墨友会と竹苑会から7名の講師を迎え、郡山公民館研修室を会場に「新春書初め大会」を開催しました。今年の参加者は児童12名で、中には初めて習字の筆を握ったという児童もいました。講師に「硯はここに」「習字紙はここ」「文鎮はここ」「筆の持ち方は」等々、丁寧に教えていただいていた児童の姿に、他の講師が「私が初めて筆を持った時と比べると上手だね。」「すごく集中して書いているね。」等の温かい声かけられていました。

新春に筆を持ち、半紙にお手本を見ながら姿勢を正し、清書する。この一年の書の上達を願っての行事です。同好の者が集まり、書に親しみ、書が上達するきっかけになってくれることを願っています。



【児童の作品】



自主学习グループによる公民館ボランティア作業



12月15日（金）午前、郡山公民館で活動している自主学习グループの方々、約30名で、恒例のボランティア清掃をしていただきました。

例年は、主に自主学习で使用している部屋を中心に清掃を行うのですが、今年は、公民館の周囲にある側溝の泥上げも行いました。長年に渡り堆積した泥は、かなりの量があり、グレーチング蓋を持ち上げる方、泥を掻き出す方、泥を運ぶ方、皆さんで力を合わせ見違えるようにきれいにしていただきました。ありがとうございました。

「例年、新年に向けて制作していた門松は、外壁工事で公民館の周囲に足場が組まれている都合上、今年は見合わせました。」

※ 自主学习グループとは、公民館講座及び小・中学校、地域コミュニティ協議会が開設する社会学級を修了した者で、修了生が自主的に学習を継続しようと組織し、申請したものです。郡山公民館では、令和5年度14団体登録しています。



さつま郷句

大谷は

心しん

技ぎ

体たい

金ぜん

世界

一

脇

夢むそう
三

甘藷が今じゃ上等ん

土産成みやげつ

坂口大吉だいきち

からいも



後期講座の紹介

【ジュニア八重大学～SDGsについて学ぶ～】

12月23日(土)夏休みに予定していましたが、台風のため延期になっていた標記の講座を第一工科大学の倉元 賢一 先生をお招きして開催しました。(大学生も参加してくれました。)

SDGsの基本的な考えやゴールについて知るとともに、自分たちができる取組として『木育』とSDGsと鹿児島」と題して木を使ったゲーム(モルック)や間伐材で椅子を作ることを通して楽しく学びました。



【クリスマス飾り作り教室】

12月23日(土)イラストレーターの原田 美夏 先生をお招きして、標記の教室を開催しました。

受講生が、牛乳パックや和紙、折り紙等を使って作ったもみの木や小さな家は、窓や戸の位置が違ったり、屋根の模様が違ったり、それぞれに個性があり楽しい作品に仕上がりました。その中に電気のキャンドルを入れ、集めると、光が窓や屋根からゆらゆらと見えるクリスマスの街並みができあがりました。

第44回 公民館かるたとり大会

1月8日(月)に「第44回公民館新春かるたとり大会」を西原商会アリーナで開催し、郡山公民館からも講座生3人が出場しました。この大会には、市内の公民館で学ぶ小中学生62人が参加し、実力と学年別で4階級に別れ、下の写真の様に1対1で向き合い、畳の上に置いた小倉百人一首の下の句の札を、上の句を読み上げられる都度に「はい!」と言いながら取り合いをしました。百人一首を通して充実した交流ができた一日でした。



1月の八重大学

1月11日(木)午前、新年初の八重大学を開催しました。芸能発表は、「ひとつ葉劇団こいやま」の皆さんによる鹿児島弁を使った「還付金詐欺防止」についての劇で会場は明るい笑いに包まれました。

後半は、「鹿児島歴史探検隊」の山田 博幸氏をお招きし、自転車の魅力やサイクリングコース作りを通して、郷土の素晴らしさの再発見、特に郡山の石橋や石垣の貴重さ、人の温かさ等について熱く語っていただきました。



2月の八重大学の予定(今年度最後)

- 2月8日(木) 9:15~11:10
- 芸能発表
藤間流千寿会(日本舞踊)の皆さん
- 講演
「鶴丸城と御楼門の再建」
鹿児島県文化振興課 依頼講師